

オリエンテーリングマガジン 2002年12月号

目次

オピニオン

読み書き、そろばん、ナビゲーション 村越 真...1

イベントを追って

仙台2日間シリーズ(武石雄市)	2
日本ロゲインチャレンジ(木村佳司)	4
鹿島海洋OL大会(清水潔)	6
勢子辻100コントロールのご案内	7
世界マスターズ(村越久子)	8
O C U P	10
東日本大会	14

読み物

オリエンテーリングエクスプローラ(佐々木順)	15
松澤俊行のオリエンテーリング道場	16
村越真のオリエンテーリング日誌	18
ゆきとじいじいのOL問答(武石雄市)	22
商標としての「OL虫」について(大沼 勝)	26
オリエンテーリングヒストリー(佐藤綱一)	29
トレイル・オリエンテーリングの世界(小山太朗)	30
世界へのチャレンジ(山岸倫也)	32

情報

スコードのページ	34
パーマネントコース情報	36
イチオシイベント 愛知インカレ	37
ワールドイベントカレンダー	38
オリエンテーリングガイド	

編集者より

東日本、全日本リレーとシーズンを飾る大会が開催されています。公認大会離れが懸念される中、ショートICと併催された全日本リレーは、レースともども盛り上がりを見せました。東も参加者が減少する中、評判自体は悪くなかったようです。

地道な工夫と努力が重要なポイントのようです(む)



全日本リレー速報

男子MEは2走松澤の快走で千葉がトップに立ったものの、3走石井の大ブレーキで後退。また2位につけていた東京もやはり3走安良のブレーキで後退する中、安斉が剛闘に走った愛知がトップに立ち、村越を擁する静岡も2位に浮上。アンカー勝負では怪我があがりの安井が東京鹿島田、千葉山口に追いつかれ、この2チームの最終ループでの勝負となった。これを鹿島田が老獪に制して、東京に連覇をもたらした。

女子WEでは、快速ランナー宮内(京都)が危険なレグを全て道周りでするという大胆なプランで、1走でトップに立った。その後を三重、埼玉、東京が3分差で続いた。埼玉は田島の力走でトップに出たものの、三好を擁する群馬が京都を押さえて3走でトップに立つ。4走横室を京都アンカー番場が軽くいなして、優勝。「これで勝てなかったら起こられるだろうな」と余裕の勝利。

表紙写真は、ピジブルコントロール直前でデッドヒート中の鹿島田と山口、右写真は京都チーム(上左より1走宮内、上右2走石川、下左4走番場、下右3走寺島)。右下は、最終区間を力走する番場(京都)

オリエンテーリングマガジン

2002年12月号

発行日 2002年11月10日

発行:オリエンテーリングマガジンプロジェクト

今月号編集:村越 久子

印刷:小野盛光